

令和元年度第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会 会議録

日時：令和2年1月21日（火）午前10時～11時30分

会場：多摩市役所4階第二委員会室

出席：委員11名（会長、副会長、委員9名） 事務局（図書館）3名

欠席：なし

開会

1 会長（図書館長）挨拶

会長

皆さんおはようございます。推進連絡会の会長の横倉でございます。本日もお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。定足数に達しておりますので、会議を開催いたします。私の方から一言ご挨拶をさせていただきます。各関係課、また各学校の皆様におかれましては、日ごろより子どもの読書活動推進に多大なるご理解ご協力をいただき、またこの第三次計画に基づいてそれぞれの施策を検討・実施していただいているところでございます。誠にありがとうございます。本日のこの推進連絡会は、本年度は本日の1回のみ開催になります。こちらの会議の目的は計画の推進というところで、これまでの実績の報告、それから今やっている取り組みの状況の情報交換、そういったものが趣旨となっております。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。まず資料の確認です。

（事務局）（資料1から8の確認）

また概要版としまして、計画の黄色いプリントも別に用意させていただいています。

2 委員の変更について

会長

まず、2の委員の変更について、資料1を見ていただきたいと思います。11名が委員となっていりますが、平成31年4月1日の人事異動で3名の委員の変更がありました。こちらの資料の通り、3人の方が変更ということで新しく委員になっていただいたところです。それでは、今ご紹介させていただきましたので、ひとことご挨拶いただければと思います。

（委員挨拶）

会長

ありがとうございました。それでは、資料 1 の 2 ページ、小中学校の連絡会、庁内連絡会委員の名簿がございますが、こちらについても人事異動等での変更がありました。また 3 ページに市民ボランティア連絡会委員 9 名の名簿がございます。昨年 3 月から 4 月にかけてボランティア団体に追加の募集の PR をさせていただきましたが、新規の加入団体はなかったため、変更はございませんでした。こちらについては以上です。

3 議題

会長

続きまして次の議題に入るところでございますが、今回委員の交代が 3 名いらっしゃったこと、また前回の会議が昨年 3 月でしたので、この第三次計画の推進体制、前回までの会議の内容について、簡単におさらいという形で説明をさせていただきます。

黄色の計画の概要版の方をご覧ください。こちらの第三次多摩市子ども読書活動推進計画ですが、「すべての子どもに読書の喜びを」ということで、平成 30 年度から平成 35 年度（令和 5 年度）の計画期間で平成 30 年の 3 月に策定した計画でございます。こちらの計画を開いていただければと思いますが、1 から 14 までの施策に基づきまして、図書館、関係課、関係機関、学校、地域のボランティアの方などを中心として、それぞれ関係する方たちが連携して取り組むということで策定をしている計画でございます。今回この三次の計画というのは、主な視点として、市立図書館と学校図書館を軸として読書活動の整備と充実を図る、こちらを一つ重要な視点として作成をしております。また、この計画は第三次計画ということで、一次二次という流れがあって作ったものですが、これまで一次二次から続く計画を策定して推進していく中で、積み残しになっている課題がありまして、それを今回は着実に推進していくということも取り組んでいきたいということで作っている計画でございます。

この推進の体制につきましては、資料の 2 に簡単に体系図としてまとめてあります。この推進連絡会ですが、本会議であります推進連絡会の下に、小中学校連絡会、市民ボランティア連絡会、庁内連絡会という組織がございます。それぞれこちらの連絡会の方でも取り組みの進捗・課題・連携について話し合いをし、それについて図書館の所管である子ども読書支援係の方でそういったものを吸い上げたうえで、この本会議であります推進連絡会の方で総合的な連絡調整・全体的な読書活動の振興等をしていく、それから情報交換などをしていく、そういったところがこの推進連絡会の所掌事項でございます。この本連絡会ですが、要綱の第 5 条により会議は公開とさせていただいており、会議録の作成をいたします。その会議録につ

きましては行政資料室へ設置するとともに、ホームページにも掲載をいたします。ご理解をいただければと思いますので、よろしくをお願いします。

平成30年度の推進連絡会でどういった話をしてきたかということも、私の方から口頭で申し上げたいと思います。平成30年度はこの計画を実施するというところで始まった年度ですが、この会議については2回行いました。1回目は平成30年の8月に開催いたしました。この第三次計画の初年度に当たるということで、この計画を着実に推進していきたいということがございまして、皆さま計画をお持ちであれば見ていただければと思います。計画にはそれぞれ施策があつて具体的な取り組みというのがありますが、取り組むにあたってそれぞれ関係課や図書館、学校等が担当課というふうに位置づけられているものでございます。そういった中で、多くの関係者がこれを推進していくにあたっては、やはりそれぞれの学校や関係課が、それぞれ計画期間の6年間を見渡した上で、それぞれ自分たちが取り組む内容を年度ごとにまとめて推進を着実に見える形で共有していこうということが重要だと思ひまして、そういった中で計画を実際に推進していくにあつてのアクションプランというのを作りたいということ、事務局の方で考えました。そのアクションプランの作成をしたいという提案を第1回目のこの推進連絡会で提案いたしまして、了承されたところでございます。

そのあと平成31年の3月に2回目の会議を設けまして、そこではそのアクションプランを取りまとめましたので、それを報告いたしました。そのアクションプランは取りまとめをただけではなく、それを毎年度振り返って次の年度へどのように展開していくかということで修正を加え、アクションプランをよりどころとしながら計画を進めていこうということ報告させていただいたところです。最終的にはこの計画期間の6年間を終了するときには目標に対して各課がどういった取り組みを実施してきたのかということ、実績としてアクションプランという形でまとめて、これをまた次の第四次計画策定のときに振り返りながら作っていききたいということを考えています。ここまですが振り返りとなります。

続いて、次の議題の(1)令和元年度の各推進連絡会の報告ということで、今年度の進捗についてお話をさせていただきます。それについては事務局の方から説明をいたします。

(事務局)

それでは、資料3に基づき、今年度の各連絡会の開催状況を報告させていただきます。

一番開催回数が多い市民ボランティア連絡会からご報告いたします。市民ボランティア連絡会はこれまで3回開催しました。最後の4回は2月に開催することになっております。

第1回目が5月23日でした。報告事項と協議事項・意見交換に分けております

が、報告としては、子ども読書活動に関する主な事業ということで、前回の連絡会以降の実績と当面の予定を毎回市民ボランティア連絡会で報告しております。年度初めの会議でしたので、平成 30 年度の各館のおはなし会の実績を報告いたしました。また、平成 30 年度の推進連絡会および各推進連絡会の開催状況を報告いたしました。また、第三次計画アクションプラン、平成 30 年度版が作成完了したことについてご報告いたしました。3 月に実施いたしました「第 10 回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》」の報告をいたしました。これが報告事項でございます。

協議事項・意見交換としては、毎年行っている「お団子作りと図書館おはなしの広場」、これは教育振興課と図書館が旧富澤家で 9 月に行っているものでございますが、こちらについて、今年度の日程内容等の調整を始めました。2 点目、布の絵本交流会との共催イベントの開催についてです。「布の絵本展」というチラシで説明しますと、これは今年の 5 月 30 日に永山公民館で開催することに決定しましたが、これについて検討することをご提案したものでございます。現在、図書館に布の絵本を作成していただいております布の絵本サークルピエロという団体がございますが、この上部組織に東京布の絵本連絡会という団体がございます。そちらの方から、図書館とタイアップして布の絵本をはじめとするやさしい本を紹介する企画展を実施してはどうかというご提案がありまして、単発ではございますが、来る 5 月 30 日に開催することになりました。こちらについて市民ボランティア連絡会の方に提案をして協力をお願いしました。

もう 1 点、子ども読書まつりのあり方について、中長期的な課題についてです。こちらについては、今日資料 8 として「第 11 回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》」のチラシを置かせてもらいました。子ども読書まつりというのは、そもそもの始まりが平成 19 年度に策定された第一次子どもの読書活動推進計画に基づき組織された推進連絡会、当時の推進連絡会は市民・学校・市役所のメンバーが所属するという形態でございましたが、こちらの連絡会が 1 年をかけてアイデアを出し合って開催したのが始まりでございます。今回で第 11 回になりますが、その間、計画は第一次から第二次、第三次と変わっていきました。それに従って子ども読書まつりも、当初は 3 日間くらいの期間で会場も図書館の本館、関戸図書館、公民館、関戸公民館、永山公民館などの会場を借りまして、同時開催ということで、おはなし会以外に、人形劇や講演会や紙芝居など様々な催し物を行ってまいりましたが、第二次計画にするとときに開催期間を 1 ヶ月間くらいにして、内容を絞り込んで、普段の活動、特に各館のおはなし会などを PR していこうという形になりました。その後、今やっておりますグリナード永山での展示などにも力を入れるようになったということで、変遷があるわけですが、11 回を迎えるということで、これまでの経緯を踏まえ、今後のあり方についても一度見直しをする時期に来ているのではないかとということで、第三次計画にもイベントのあり方について検

討するということになっておりますので、このことについてご提案いたしまして、今も継続的に審議を続けているところです。

第2回目が9月26日です。報告事項は、ここでは、主催事業の開催について行いました。10月27日に「紙芝居を演じてみよう」という講座を行いました。また今度の土曜日、1月25日に読み聞かせの中級編ということで「ブラッシュアップ！読み聞かせ」という主催講座を企画しておりますが、この2点について報告いたしました。協議事項・意見交換は、先ほどの「布の絵本展」のことについて、さらに審議をいたしました。また、子ども読書まつりのあり方についても引き続き審議をいたしました。第2回目は、平成30年度の第三次計画の進捗状況についても図書館関係課の資料をお見せしたところです。

11月28日の第3回ですが、ここでは報告事項で第11回の子ども読書まつりについて、ほぼ内容が固まりましたのでご報告をいたしました。協議事項・意見交換では、令和2年度に向けての市民ボランティア連絡会委員の募集について、今年度同様に行っていきたいということをご提案いたしました。また、主催事業に保育付きの講座を設けることについて、令和3年度から導入する考えであることをご提案いたしました。また、継続審議事項となっている子ども読書まつりのあり方についてですが、現段階では、主催をどこにするのかというのが一つの議論のポイントとなっております。第10回・11回は、現状にあわせて主催を多摩市立図書館ということで行っておりますが、それまでは、こちらの子ども読書活動推進連絡会などが主催という形になっておりました。こちらについていろいろなご意見が出ているところがございます。子ども読書まつりにつきましては、内容と期間とネーミングについてさらに議論を進めていくべきということになっておりまして、次回は各団体の方もまた意見をとりまとめて持ってこられるということになっております。これが市民ボランティア連絡会の現在の動きでございます。

小中学校連絡会については、12月11日に行いました。ここでは、お手元に配っているアクションプランの令和元年度版についてご説明をし、情報共有いたしました。また、第三次のアクションプランの図書館の施策の中で夏休み期間等を利用した児童生徒等参加型のイベントなどについて意見交換をしたところです。

市内連絡会は12月26日に開催いたしました。こちらでは、同じくアクションプラン、図書館・関係課分について、案の確認と情報共有、そして各課・図書館の今年度の取り組み実績の報告を行いました。また、「子ども読書まつり《ほんともフェスタ》」のあり方についても現在の状況をご報告し、今後また意見をいただきたいと思いますと思っているところです。

会長

資料3に沿いまして、各連絡会の開催状況について報告をしたところです。市民ボランティア連絡会については、地域のボランティアの団体が参加されていると

いうところで、実際にイベントやほんともフェスタというお祭りをずっと長くやっていますけれども、そのあり方についてやこの計画の実践部分の役割を担っていただいているので、そういった中での会議の内容となっております。今一通り報告させていただきましたが、何かご意見やご質問等がありましたらお願いいたします。

委員

ちょっと教えて頂きたいのですが、アクションプランの令和元年度とか平成 30 年度とか、このあと議題が令和 2 年度版とありますが、今日配られたこの令和元年度版はいつ完成したのでしょうか。前の会議の資料を見ると、前回平成 31 年の 3 月 8 日にこの連絡会が開かれて、その時アクションプランについてというのがついていて、それは何年度というのが載っていないのですが、前回の平成 31 年の 3 月 8 日に配られたアクションプランというのが平成 30 年度のものだった、という認識でよろしいのでしょうか。

会長

そうです。

委員

平成 30 年度版のアクションプランは 6 月 17 日に手元に届いたんですね、そのあといろいろ調整して。平成 30 年度のアクションプランをやった結果がこうだったよということですよ。この令和元年の 6 月 17 日に届いた 30 年度版アクションプランというのは、平成 30 年度はこんなアクションプランで平成 30 年度はこういうことが実施できましたよという報告ということですか。

会長

「平成 30 年度版アクションプランは、このようなことを実施します」という計画表ですね。

委員

令和元年の 6 月に平成 30 年度に実施するプランがなぜ配られるのか、よくわからなくなってしまったのでおさらいさせてもらっているだけです、すみません。

(事務局)

わかりにくくて申し訳ございません。昨年度は、先ほどご説明いたしましたように 8 月の推進連絡会においてアクションプランをつくるということをご了承いただきましたので、それから作成を始めました。

委員

昨年度ですよ。平成 30 年度ですよ。

(事務局)

そうです。平成 30 年度の 8 月に了承を得まして、それから作成を始めましたので、今年の 3 月（平成 30 年度末）にこのような形で平成 30 年度版ができたとい

うことです。そして皆様にお配りしたのが6月あたりになりました。

委員

平成30年度版を平成31年3月25日の教育委員会で報告されているのですね。

(事務局)

そうです。平成30年度というのは第三次計画の初年度でございまして、今、申し上げましたとおりアクションプランの作成では取りかかりが遅れますので。

委員

わかりました、ありがとうございます。そうすると、今日配られているこの令和元年度版というのは、今頂いた資料の3で言いますと、今年度のアクションプランで、もうあと3ヶ月くらいしかないけれども、この間の庁内連絡会でいうと、12月26日にこのアクションプランについて、案について確認がされたという理解でよろしいですか。

(事務局)

そうです。一応念のために、係長クラスで再確認をいたしました。今回作ったのは、今年度のプランでございます。なおプランの中身は、平成30年度のアクションプランの振り返りと、その後の修正がわかるようになっています。

委員

わかりました。そこがちょっと勘違いしているといけないなど、よくわかりました。ありがとうございました。

会長

会議の開催がタイムリーではないので少しずれている部分があつて申し訳ありません。平成30年度のアクションプランを作成する際に、6年間を見据えて6年分の計画を立てて、それを毎年度毎年度、アクションプランを更新する中で、前年度の実績をまとめるとともに、その前年度の実績を見てその当年度の修正を加えるという形でアクションプランを更新しながら、進捗を確認していくということにしております。

次に、議題の2に入りたいと思います。アクションプランについて、平成30年度に各関係課・図書館等がどのようなことをやってきたかという実績と、令和元年度の取り組みについて報告をいたします。それでは事務局から説明をします。

(事務局)

それでは、資料に基づきご説明いたします。

まず資料4の冊子、図書館・関係課分の令和元年度版のアクションプランです。まず簡単に表の見方です。これは第三次計画の1ページを見ていただきたいのですが、施策番号1となっております。本の情報提供となっておりますが、このように1から14まで計画書にある順番で全ての施策がここに入っております。そして担当課というところにも第三次計画に書いてある担当課が入っております。この

ように、具体的な施策と担当課が入っておりますが、その右の部分に平成 30 年度から令和 5 年度までのそれぞれの列を作っており、ここにそれぞれの担当課の現場の職員、学校の先生、図書館司書の方が 6 年を見渡して、この時期にどのようなことをやるかというのを平成 30 年度に作っていただいたものでございます。今回この令和元年度版は平成 30 年度の実績の振り返りも行っておりますので、この平成 30 年度実績の隣に②ということで、振り返りという列を作っており、またこれに関するコメントを記入する列としまして、備考欄③というのを入れてあります。これが表の構成でございます。

冊子の初めの部分、この「アクションプランについて」を確認のために読ませていただきます。（「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画アクションプランについて」のページ内容の確認）

資料の 6 は、項目数が大変多いので、これではなかなか読み込むのにも時間がかかるため、各課の方から主に力を入れて取り組んだ施策をだいたい二つくらい挙げていただいたものです。多岐にわたる施策の中でも、今年度はこれについて力を入れたと言うものを各課から出してもらいました。これが、図書館・関係課のアクションプランについてです。

次に、学校の方に入りたいと思います。資料 5 です。令和元年度版多摩市立小中学校分となっております。この表については、図書館、関係課とは一部違うところがございます。それは 1 ページ開けていただくとおわかりになるかと思いますが、平成 30 年度の振り返りと備考欄がございません。その理由ですが、各学校からは、振り返り・アクションプランの見直しの細かいところもお出しいただきましたが、こちらの冊子は全小中学校に配付しますし、また今後、外部にも出ていくということも考慮いたしまして、そこまで細かい内容は、今回は記述しなくてよいのではないかというこちらの判断で、小中学校についてはプランそのものだけ掲載しております。これが違いです。初めの部分以外は同じように書いております。ですから 2 ページ目がないということです。なお、小中学校分のアクションプランは、先ほど平成 30 年度版のお話がありましたが、平成 30 年度版につきましては、主な取り組みということで、要約版しか作っていなかったのですが、今年度に入りまして、校長連絡会で、全ての学校分が一覧できる冊子をぜひ作っていただきたいというご意見がありましたので、私どもの方で全小中学校のものがわかるよう、令和元年度はこのような形でお作りしたものでございます。これが小中学校分についての説明でございます。

それと、資料 7 です。令和元年度の多摩市立図書館の主な取り組みにつきまして、ご説明をしたいと思います。私ども図書館も第三次計画に従いまして、計画的に着実に推進を行うべく取り組んでおります。今年度につきましては、このような取り組みをやっているという情報提供でございます。

まず、全体に向けてです。夏休みに小学校の児童を対象にして「一日図書館員」というのを行っておりますが、こちらについて、参加者定員を増やし、また受付方法について、抽せんを導入するなど改善をいたしました。アクションプランについては31ページに載っております。定員36名のところからほぼ倍の60人ということで行いました。全体に向けての2点目です。主催事業として行っております「はじめての読み聞かせ」は、読み聞かせの初級編に当たるものですが、この受講後、次のステップに行きやすいようにフォローアップをした方がいいというご意見をいただいております。こちらにも計画に載っておりますが、今週の土曜日に行います1月25日の中級編の講座の終了後に、希望者に職員が研修を行う予定であります。アクションプランの63ページと64ページに、該当事項が載っております。

今年度は、小・中学校に向けての取り組みの方に力を入れているところでございます。まず、2の(1)ですが、学校版のアクションプランについてはこのように全学校部分が見えるような形にし、全小中学校、校長、副校長、司書教諭、学校図書司書の方に1冊ずつ配付して、日ごろの活動で実際に使ってもらえるようにいたしました。これは当初アクションプランには入れていなかったが、行った事項でございます。

(2)の、LLブック・大活字児童書・点字絵本・布の絵本、障害等あるいは、学習障害等のあるお子さんなどが利用すると学習しやすいという図書ですが、こちらについて、セット貸しを希望する小中学校に貸し出しを始めました。小学校の特別支援学校セットは8校、中学校は1校、あと中学校の学校図書館向けセット2校ということで、当初の照会にこれだけ要望がございましたが、先般学校図書館司書の方の研修会に参加したところ、まだ借りたい学校が他にもあるというお話がありましたので、その後追加募集を出したということがございます。

(3)学校図書館への新聞配達が進むまでの支援として、多摩市立図書館所蔵の一般紙、これは一般閲覧を終了したもので新しいものではございませんが、この利用を希望する小中学校に、配付を開始しております。一般紙について、小学校から4校、中学校からも1校、希望がございました。先般の中学校の学校図書館司書の研修会で、中学校はまだ他にも利用したい学校があるということがわかりまして、現在学校図書館司書の方で相談して配分を決めてくださるということになりましたので、それに応じてご要望にお応えしていきたいと考えております。

(4)外国語学習や多文化への対応に役立つ図書、日本語を母語としない子どもへ提供する図書の購入を本格的に進め始めました。今年度、選書の際には国際交流センターおよび教育センターへアンケートもとらせてもらい、今後もこのような形でニーズなどを把握しながら、もっと情報提供に力を入れて活用していただきたいと考えております。

(5)ですが、第三次計画の施策実現に向けて、まずは情報共有すべき課題がご

ざいまして、アクションプラン 5 ページ、23 ページ、40 ページ、45 ページ、61 ページにあります。子ども読書支援係の方から各学校に実態調査をお願いしまして、12 月の下旬から 1 月上旬までの間、回答をいただきました。今後この取りまとめを行いまして、また結果を報告させていただき、今後のあり方の参考にさせてもらいたいと思っております。

(6) ですが、多摩市特別支援教育推進計画改定における市民ワークショップというのが教育センターで主催され、3 回に渡って行われました。この会場で、主に支援の必要な児童生徒向けの図書につきまして、会場に展示のスペースを設けていただき、関心のある方に手にとって見てもらうことができました。また、第 3 回目の最終回の 12 月 7 日にはお時間をいただきまして、その本について、あるいはマルチメディアデイジーという新しい媒体につきまして、ご説明もさせていただくことができました。

(7) 「学校図書館だより」を利用して多摩市立図書館の PR ができないかということで、これはアクションプランの 2 ページに載っておりますが、このたび図書館から「外国語資料のリストを図書館のホームページに掲載していますのでぜひご覧下さい」という記事の掲載をお願いしたいということで、学校長をはじめ、学校図書館司書の方をお願いをしたところでございます。これが今年度の図書館の主な取り組みです。

会長

一通り説明をさせていただいたところです。この計画自体が、関係する課・図書館・学校等が直接推進していくという形になりますので、進捗の確認を含めてこのようなアクションプランを使って行っています。図書館といたしましては、このような形でそれぞれから上がってきた進捗を見ながら、例えば教育センターなどと図書館が作ったブックリストをゆかり教室等で提供することも計画の取り組みの中にありますが、そういったところが進んでないという状況であれば、図書館の方から声掛けをしてブックリストの提供をしていくとか、あとは先ほど図書館の取り組みの資料 7 の(6)で、多摩市特別支援教育推進計画の策定におけるワークショップでの図書館での資料の展示というのも教育センターの方の取り組みなのですが、これにつきましても積極的に図書館で関われることをしていくということで、この計画をまとめたものの中で進捗が少し遅れているものについては、こちらから各関係課等に声かけをしながら、図書館でできることを協力していくというところです。

これにつきましては、このアクションプランを冊子にしたので、今後市民ボランティア連絡会の会員の方にも配付をいたします。また、今日の資料なども行政資料室にも設置しますので、関心のある方から問い合わせ等があるかと思いますが、その時にはよろしくお願ひいたします。これはあくまでも図書館の各館、各関係課、

それから各小中学校の担当している方が施策を着実に進めるための具体的な計画というものですので、特にそれぞれを比較してというものではありませんので、そのあたりについては今度市民ボランティア連絡会の委員の方にも説明をした上で配付したいと思っております。

それでは今の形でご報告をしたところですが、例えば資料 6 で各関係課の皆様からも、このような取り組みをしましたということで挙げていただいているので、その部分の補足説明や、何かご質問等ありましたらいただければと思います。

委員

資料 6 の今年度の主な取り組みで特徴的な部分を各館から出していただいたということで、先ほど説明があったと思うのですが。今回の計画、概要版の見開きの左のところで網掛けのところは重点施策ですよというところもあったりするので、アクションプランのページも必要ですが、施策番号が入っていると重点施策でこういうのが新しく出てくるとかそういったところがわかっていいのかと思います。ご提案です。

会長

ありがとうございます。この資料 6 はアクションプラン、それぞれの課を説明するときに、やはりこの冊子を見てもわかりにくいというところで、主な取り組みとして抜き出したもので後から作ったものなのですが、確かにその部分でそういった施策番号も入れていければいいと思います。ありがとうございました。

委員

令和元年度のアクションプランは冊子として、ここで決定なのですか。前回の係長級の庁内連絡会の時は案についてとなっているのですが、案だったものが、どこかで決定されて、今回報告ということで出されているという理解でよいでしょうか。

会長

そうです。今回に関しては更新版という意味合いがありますので、このアクションプランについては内部決定させていただいて、この場で報告をさせていただくという形にいたしました。

委員

そうしますと、内部決定というのは、図書館で内部決定をなさっていて、今日は報告ですか。前回の平成 30 年度のアクションプランというのは、3 月 25 日の教育委員会で報告されたということで 6 月に配付されたと思うのですが、教育委員会でこの後いつどのような形で報告されるのかが知りたいのと、あと平成 30 年度のアクションプランのときは、図書館・関係課分のところには、振り返りと備考と令和元年度というところが入っておらず、振り返りの評価のところはどういう取り扱いになるのか確認したいと思いました。

会長

このアクションプランに関しては、図書館は図書館協議会という組織があり、これは館長の諮問機関となっておりますが、年度末にその会議がありますので、そちらの方に報告をするという形にしております。教育委員会については、このアクションプランに関してはあくまでも実務的な計画なので、特に報告する予定はありません。

委員

ありがとうございました。

委員

このアクションプランの記載内容については、各課に照会をいただいて回答したものが集約されているという理解でよろしいですか。

会長

はい、そうです。

委員

なにかしらで私達は決裁していると思いますが、この成果物になるものが、連絡会当日に配られて見るのはかなり厳しいと思います。12月の末の庁内連絡会的时候には案とはいえこの形のものでできていたのではと推測されるので、できれば事前に目を通すような形で配っていただくとよいと思うので、今後そのあたりをご検討いただければと思いました。

会長

わかりました。これをある程度まとめてから印刷して皆さんにお見せするというスケジュールもあり当日配付になってしまいましたが、また検討させていただきたいと思います。最終的にこのアクションプランは、令和5年度までの6年間の実績としてまとめるということを申し上げましたが、その時にはその年の振り返りの評価は特に表記はしない形で最終的に作るつもりでおりまして、最終的に令和5年度までにこういうことができたという実績として作るものになっていますので、よろしく願いいたします。年度単位の振り返りという意味で作りましたが、今日ご意見をいただきましたので、またその辺は検討させていただきます。

学校については、先ほど係長から説明がありましたが、アクションプランの小中学校版ということで最初は各学校の実績などについては細かくまとめるつもりではなかったのですが、各学校がどういったことをやっているかということが共通でわかった方がいいというご意見もいただきましたので、こういう形にいたしました。この結果として、学校の方でもこういった形でそれぞれ取り組みが進んでいるというのが見える形になるのかなと考えております。

続きまして、議題の3です。今後、このアクションプランの令和2年度版を作成しますので、その辺りを簡単に事務局の方から説明させていただきます。

(事務局)

それでは、令和2年度版のアクションプランの作成についてです。今後、この令和元年度版のアクションプランの振り返りと見直しを関係課と各学校にお願いしたいと思っております。小中学校連絡会のほうから、学校は教職員の異動などがあるので早めに照会をかけて回答をできるようにしてほしいというご依頼がありましたので、2月中旬に文書をお出しし、1ヶ月程度の期間を設けて3月の終わりを回答締め切りという形にしたいと思っております。関係課の方は、3月中旬に依頼を出して締め切りは4月末くらいという形をとりたいと思っております。今年は振り返りとアクションプランの見直しを行ったのが年度が始まってからでしたので、配付が今の時期と遅くなりましたが、来年度はもっと早くこのような形の冊子を作れるようにしたいと思っております。

この令和元年度版の様式は、平成30年度の隣のところに振り返りと備考欄があります。令和2年度版にするに当たっては、この平成30年度の実績のところは見え消しもなくなり、下線もなくなります。平成30年度のプランだけをここに入れまして振り返りや備考の欄はなくなります。そのかわり、今度は令和元年度の隣の振り返りと備考の欄が入ることになります。このように、毎年更新しながら過去のところの評価の欄は全て消して行って、最後には評価も備考の欄もなく、これが6年間の実績の冊子になるというふうなことを考えております。ですので、令和2年度版の調査票は令和元年度の内容を振り返り、CとかDとかという記号を付けた場合は備考欄に理由や事情をわかるように書いておいていただければ、今後の参考にもなりますし、振り返りという意味が出てくるかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

会長

この本日の会議に関しましては、今年度1回ということになってしまい、主にこれまでの平成30年度の実績とそれから今の取り組み、各連絡会の報告が中心となりましたが、今後この会議におきましては、この計画を進めていく中で、課題の部分もお話して意見交換ができればいいなと考えております。今年度の図書館の主な取り組みというところで紹介しましたが、第三次計画の施策の実現に向けて、小中学校の方へアンケートを実施しています。課題に関してのアンケートなどを行っているところですので、その結果などを踏まえて子どもの読書活動推進のため、図書館含め関係する課・学校の方でどのようなことを進めていった方がいいのかということもこの場で意見交換させていただきたいと考えております。今回については、進捗の確認ということになったところです。議題につきましては、以上で終了とさせていただきますと思っております。

委員

ひとつ質問です。学校のほうの内容の確認ですが、2月に学校に見直してくださ

いという確認が来たら、学校は6年間を見通して矢印をつけていると思いますが、このままでよければ、令和元年度のところも矢印のままで、令和2年度のところもこのまま矢印で確認しましたという回答でいいのでしょうか。例えば令和元年度も平成30年度と同じであっても記録として残していくために全部書くのでしょうか。令和2年度について新たにやりたいところがあればそこは入れていくと思いますが、この形のままでよければ、この形のまま令和5年度まで進むことを可としているのでしょうか。

(事務局)

照会をかけるときに、例えば1ページの一番上ですけれども、学校図書館司書による新規購入した本の紹介というのが平成30年度に入っておりますが、令和元年度のところにもこちらで同じ文言を入れて配付するという方法もあると思います。学校には令和元年度の横に評価を書いてもらうなど、なるべくお手間はかけないような形でお出ししたいと思いますので、ご理解いただきたいと思っております。

委員

継続しているものはなるべく負担なく処理できるようにするということですね。

(事務局)

そうです。

委員

新たに入れていくものに力を注げるような環境にアンケートをしていただきたいという要望です。

(事務局)

わかりました。

会長

よろしいでしょうか。では、情報提供に移りまして、資料8で「第11回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》」について、開催が近くなりましたので、事務局の方から説明をいたします。

(事務局)

では、第11回の子ども読書まつり、ほんともフェスタと呼んでおりますが、2月28日から3月31日の期間、各会場で行います。まず、「ほんはともだち！展示」ということで、2会場で行いますが、グリナード永山の2階の正面を入ったところにどんぐり広場というスペースがございます。よく催事なども行われているところですが、そことエスカレーター横の特設広場というところも今回は追加でお借りすることができ、この二つのスペースで2月28日から3月2日の4日間、小中学校の学校図書館の取り組みの紹介や、児童生徒の読書活動の作品など、そして市内で活動するボランティア団体、おはなし会のボランティア団体の方のパネ

ルなどを中心に展示を行います。また期間中、2月29日と3月1日はオープニングお楽しみ会ということで、読み聞かせ団体の方のおはなし会・紙芝居なども開催する予定です。3月14日から3月31日は、スペースの問題もあり多少規模は小さくなりますが、図書館の本館でも同様の展示を行います。

資料の見開きの部分が1ヶ月間のおはなし会のスケジュールでございますが、通常のおはなし会にプラスして、ほんともフェスタのための特別おはなし会というも行いますし、児童館・コミュニティセンター等の会場もお借りして行います。ほんともフェスタは、日ごろのこのような活動もPRするというところに力を入れておりますので、ぜひ、ご関心を持っていただけるようにこちらもPRに努めていくものです。

裏表紙ですが、ほんともフェスタでは講演会も行っておりまして、特にティーンズなども意識した講演会を近年行っております。今回は2名の講師の方をお呼びすることができました。①は講師が村岡恵理さん、村岡花子さんのお孫さんにあたる方で、『村岡花子の家庭図書館～道雄文庫が始まった頃～』こちらは対象はどなたでもということになっております。②は対象が小学校の中高学年から高校生、また子どもの本の読書に関心がある方ということでティーンズを意識したのですが、講師は石津ちひろさんという方です。絵本作家・詩人・翻訳家として非常にご活躍でございまして、こちらに代表作が載っておりますが、小学校・高校の国語の教科書にも詩が掲載されている方でございます。今回は『ことばで遊ぶ、ことばを愉しむ』ということで、言葉の楽しさを紹介してくださると思います。申し込みは2月10日月曜日からインターネット・はがき・図書館本館カウンターにて先着順で受け付けます。

会長

ほんともフェスタの紹介をさせていただきました。1ページ目の、「ほんはともだち！展示」ですが、こちらに記載してありますように、多摩市立小中学校全校にご協力いただきまして、学校図書館の取り組みを展示しています。こちらにつきましては、この場所が人通りも大変多くて足を止めて見ていただく方も多く、子供たちもかなり来て、自分の学校が紹介されているため非常に喜んでくれるので、学校のご協力本当にありがとうございます。

それから裏面の講演会についても、②の石津ちひろさんは学校の教科書に詩が掲載されているということで非常に有名な方でいらっしゃいますので、もしお時間がありましたらいらしていただければと思います。

あと、別件なのですが、今度図書館の方で新しいサービスといたしまして、ネコサポステーションが市内3ヶ所ございますけれども、そちらの方で図書館の本が返せるというサービスを3月3日から始めます。ネコサポステーションの方に、図書館の利用者が直接本を返却できるボックスを置くという形です。ネコサポス

テーションの 1 ヶ所がグリナード永山にありますので、ほんともフェスタの会場での展示の時に返却ボックスも置いて、チラシなども配る予定です。

また、ほんともフェスタについて、どのように実施していくのが効果的かということにつきましては、今後も検討をしていきます。図書館としての情報提供は、以上でございます。

では、次回の日程です。報告の連絡会ですが、年 1～2 回を予定しており、来年度は第 1 四半期中の 6 月頃に第 1 回目を実施したいと考えております。また改めて日程調整等をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

では、本日の会議は閉会とさせていただきます。

閉会